

## ◆ 編集後記 ◆

1人1台タブレット端末の配備を受け、今年度から稚内市の小中学校では、ICT 機器・環境の整備や維持管理、ICT を利活用した教育がスタートしました。本研究所では、各校の研究や稚教研の部会研究との相乗効果、あるいは側面的な支援や援助ができればと、ICT 活用に重点をおいた研究や研修に取り組んできました。この度は、研究推進にご尽力いただいた所員の皆様のお陰で、小中9年間を見通した情報活用能力育成(タブレットの基本操作やアプリの基本操作)のための体系表を作成することができました。各校で活用いただければ幸いです。

稚内市教育研究所 所長 船木 真澄

●「この所報をまとめる作業は、作業している自分自身が一番勉強になっている。」このところ、毎年同じことを考えています。ただ、今回は、「自分や自分のまわりの学校だけでなく、他の地域の学校ではどのようにしているのだろうか?」という視点に気づくことができた取組だったな、と感じます。一緒に悩んだ先生方、実践をたくさん見せて下さっている稚内市の先生方、そして快く資料を提供して下さいました。本当にありがとうございました。

潮見が丘小学校 菊池 大



●新型コロナウイルスの流行の中、子どもたちの成長とどのように向き合っていくか悩むことが増えました。その中で、タブレットの活用と子どもたちの成長について所報作成で先生方と練り合うことができました。現在タブレットを使っている子どもたちの将来の姿を思い浮かべながら、日々教育実践を積み重ね、先生方と語り合いながら進めていきたいです。

稚内東中学校 太田 千絵

●小中9年間を通した ICT(タブレット)活用教育についての研究に携わることができ、大変勉強になりました。これからの未来を担う児童・生徒のための ICT 教育のたたき台として作成しました。今後、皆で活用しながら磨き上げて、さらに良いものを創りあげていけたらいいなと思います。皆様のお役に立てることを願っております。最後に、研究所の皆様、所員の皆様、大変お世話になりました。

稚内東小学校 加藤 愛



●“大”先生をはじめ、チームのみなさんお疲れ様でした。「良き師」を担当させていただき、多くの先生達と対話できたことは、とても楽しく勉強になりました。ありがとうございました。

稚内中学校 泉 雄大

●新学習指導要領完全実施、GIGAスクール構想など、変化の激しい時代だからこそ、子どもを中心に捉え、力を合わせて学び実践する各学校の取組を、所報を通して共通のものにしていく手助けができたらと思っています。今後も、現場のニーズにあった研究研修を進めることを目指して行きたいと考えています。

専任所員 佐近 強



### 令和3年度稚内市教育研究所

【所長】船木真澄 【副所長】中野悟 【事務局長】松本ちひろ 【専任所員】佐近強 日野登志子  
【所員】林彩夏 相澤昇吾 加藤愛 菊池大 泉雄大 下山由香 太田千絵 中岡萌